



### Present

甘みの中の爽やかな酸味、シャキシャキの食感とみずみずしさがたまらない「二十世紀梨」3kgを抽選で3人にプレゼント! 応募はハガキに住所・氏名・年齢・電話番号を書き、〒460-8511中区三の丸1-6-1 中日新聞広告3部「鳥取」係まで。8月24日(金)必着。PCは中日新聞プラスのプレゼントコーナー内から、スマホ・携帯は下記バーコードから応募できます。当選の発表は発送をもって通知します。賞品は、JA鳥取いなばより直接送付するため、当選者の個人情報は中日新聞社とJA鳥取いなばで共有します。予めご了承ください。賞品発送以外の目的では使用しません。



アクセス

[電車] JR名古屋→(新幹線)→JR姫路→(特急スーパーはくと)→JR郡家(における)→若狭駅からバスで氷ノ山へ(約4時間50分)  
※さじアストロパークへは特急スーパーはくとでJR智頭(ちず)→(因美線)→JR用瀬(もちがせ)駅からバスまたはタクシーで約4時間  
[車] 一宮IC→(名神高速→中国道)→佐用JCT→(鳥取自動車道(無料))→河原IC下車、国道29号線→482号線経由で氷ノ山方面へ  
※さじアストロパークへは鳥取自動車道の用瀬IC下車、国道53号線→482号線経由

1)ワサビ谷のシャワークリミングは子どもも大人も楽しめる。2)さじアストロパークのコテージ。3)コテージには本格的な天体望遠鏡を完備。4)梨の木一本に300~400個の実をつける。5)鳥取を代表する特産品の「二十世紀梨」は、生産量も日本一を誇る



涼しげな名前の山で  
夏山散策や沢登り  
鳥取県の東の端、八頭郡若桜  
(わかさ)町にある氷ノ山(ひよのせん)は、県西部の秀峰・大山(だいせん)に次ぐ中国地方第2の高峰(標高1,510m)。涼しげな名前は、天照大神が朝日の当たった樹氷を見てつぶやいたとされる、「ひえ(氷)のやま(山)」に由来しています。

ここでの楽しみは、中腹の「氷ノ山自然ふれあい館 韶の森」

**天文台付き「テラージュで星空観察 梨狩りはこれからが旬」**

星空と言えば鳥取市佐治町の山あいには、国内屈指の103cm

夜は星空観察もお勧めします。「星取県」を名乗る鳥取県は環境省の全国星空継続観察で全国1位になるなど、「星の見えやすさ」が自慢。空気が澄み渡った氷ノ山で見る星空の美しさは、送ってくれました。

涼しげな名前は、天照大神が朝日の当たった樹氷を見てつぶやいたとされる、「ひえ(氷)のやま(山)」に由来しています。

ここでの楽しみは、中腹の「氷ノ山自然ふれあい館 韶の森」

**天文台付き「テラージュで星空観察 梨狩りはこれからが旬」**

星空と言えば鳥取市佐治町の山あいには、国内屈指の103cm

夜は星空観察もお勧めします。「星取県」を名乗る鳥取県は環境省の全国星空継続観察で全国1位になるなど、「星の見えやすさ」が自慢。空気が澄み渡った氷ノ山で見る星空の美しさは、送ってくれました。

涼しげな名前は、天照大神が朝日の当たった樹氷を見てつぶやいたとされる、「ひえ(氷)のやま(山)」に由来しています。

ここでの楽しみは、中腹の「氷ノ山自然ふれあい館 韶の森」

**天文台付き「テラージュで星空観察 梨狩りはこれからが旬」**

星空と言えば鳥取市佐治町の山あいには、国内屈指の103cm

### 涼しげな名前の山で

### 夏山散策や沢登り

鳥取県の東の端、八頭郡若桜

(わかさ)町にある氷ノ山(ひよのせん)は、県西部の秀峰・大山(だいせん)に次ぐ中国地方第2の高峰(標高1,510m)。

涼しげな名前は、天照大神が朝日の当たった樹氷を見てつぶやいたとされる、「ひえ(氷)のやま(山)」に由来しています。

ここでの楽しみは、中腹の「氷ノ山自然ふれあい館 韶の森」

**天文台付き「テラージュで星空観察 梨狩りはこれからが旬」**

星空と言えば鳥取市佐治町の山あいには、国内屈指の103cm



お出掛けガイド

企画・制作/中日新聞広告局

# 今年の夏は涼を求めて鳥取へ

夏山散策に星空観察、梨狩り!  
お楽しみはこれからです!!

風致豊かで、季節を問わず景観に優れる鳥取県。この時季は都市部を少し離れ、暑さから逃れるように過ごしてみましょう。今回紹介するのは同県の東部。緑が一層鮮やかな山間部で自然を生かしたアクティビティが楽しめる他、平地では間もなく梨狩りシーズンが本格化します。

(電話0858・821-620)が行っている多彩な自然体験プログラム(有料)。定番の夏山登山は3つのコースがあり、人気は中級者向けの仙谷(せんだい)コースとか。幹回り8・1mのトチノキの巨木や壮大なブナ林が見られる片道約2時間30分のコースで、夏は途中から分岐する自然探勝路の中間地点「ワサビ谷」の清流の中を進むシャワートレッキン

グ(沢登り)が一押しです。同施設の自然解説専門員の岡田珠美さんによると氷ノ山は生き物が多く、イヌワシやニホンリスなど珍しい動物も生息しているとのこと。「これは豊かな自然あってこそ。自然体験プログラムで、氷ノ山の魅力を目いつぱいお伝えします」と、拳を握り、親指を立てて「任せて!」の合図をする仕草で「任せて!」の合図を送ってくれました。

夜は星空観察もお勧めします。「星取県」を名乗る鳥取県は環境省の全国星空継続観察で全国1位になるなど、「星の見えやすさ」が自慢。空気が澄み渡った氷ノ山で見る星空の美しさは、送ってくれました。

涼しげな名前は、天照大神が朝日の当たった樹氷を見てつぶやいたとされる、「ひえ(氷)のやま(山)」に由来しています。

ここでの楽しみは、中腹の「氷ノ山自然ふれあい館 韶の森」

**天文台付き「テラージュで星空観察 梨狩りはこれからが旬」**

星空と言えば鳥取市佐治町の山あいには、国内屈指の103cm

前も気分を盛り上げてくれます。8月に出掛けるなら、下旬から梨狩りシーズンが始まることをお忘れなく。鳥取砂丘から車で東へ3分ほどの場所にある、その名も「梨狩り街道」(鳥取市福部町)には、20以上の梨園が軒を連ねます。同県農林水産部の尾和博部長いわく、「代表格の二十世紀梨はジューシーさの中にある酸味とサクッとした歯応え。新規品種の新甘泉(しんかんせん)は赤梨特有の強い甘み。どちらももぎたてのおいしさは別格です」。甘さとみずみずしさが、口の中で爽やかに広がる同県特産の梨。その味覚狩りは、夏休み終盤以降、10月上旬まで続くお楽しみです。

問い合わせ

ふるさと鳥取県産業・観光センター(中区栄4・1・1 中日ビル4階/電話052・262・5411)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/>

2018年8月11日(土)付 中日新聞 市民版 掲載